

おじいちゃん・おばあちゃんに関する本

ぼくのしんせき【岩崎書店】

(作・絵)青山友美

パコン！押入れの칸の中にあったのは、小さいぼくと親戚の写真。全然覚えてないけど…。3年ぶりに、30人みんなが集まる今年のお盆が楽しみだ。

とつときのとつかえっこ【童話館】

(文)サリー・ウィットマン(絵)カレン・ガンダーシーマー

(訳)谷川俊太郎

赤ちゃんだったネリーは、お隣のバーソロミューおじいさんに、毎日カートに乗せてもらいお散歩に連れて行ってもらいました。歩けるようになって、いつも二人は一緒。楽しい毎日です。段々ネリーは大きくなり、バーソロミューは年をとってゆく…。さて何が"とりかえっこ"になるのでしょうか？

絵が小さく遠目がききませんが、近くによってもらい、是非読んでもらいたい一冊です。



いのちのまつり「ヌチヌグスージ」【サンマーク出版】

(作)草場一寿 (絵)平安座資尚

「ぼうやにいのちをくれた人は？」両親、祖父母…背後に連なる無数の「いのち」。そのどれが欠けても、あなたは存在しません。その事実が視覚でとらえられるよう、壮大なしかけ絵本になっています。

ハルばあちゃんの手【福音館書店】

(文)山中恒 (絵)木下晋

ハルという女性の人生を『手』にスポットを当て語られる。赤ちゃんのぷくぷくした手が、シワシワのおばあちゃんの手へと変化して行く。

絵が大きくて迫力あり。この本を読んだ子供達がおばあちゃんの手をみながら、おばあちゃんの若かりし日の話を聞ききっかけになるかも!?

おじいちゃんがおばけになったわけ【あすなろ書房】

(文)キム・フォップス・オーカソン

(絵)エヴァ・エリクソン(訳)菱木晃子

大好きなじいじは、お葬式の夜から壁を通り抜けてやってくる。「この世に忘れものがあると…」思い出話の先には？

もったいないばあさん【講談社】

(作・絵)真珠まりこ

物があふれかえっている現在に物の大切を教えてください。

今日もあのばあさんがやって来る!? 大型本もあり、また色々なシリーズがありますよ。



～こんな本もあります～

長谷川義史

- いいからいいから
- おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん
- おじいちゃんのごらくごらく